

なぜ、ポーランドの化粧品を選んだのか？

1. ナチュラル・オーガニック化粧品に大切な土壌、農業国家、発展した有機栽培の地である

ポーランドは、近年のオーガニックブームなどで、付加価値の高い作物を作るのに適しており、高品質の有機栽培作物が他のヨーロッパ諸国に盛んに輸出されている。

国土が温帯と冷帯の境界に位置すること、降水量が少ないことを反映して、麦類の栽培が盛んである。中でもライ麦の生産は世界第2位、えん麦は世界第5位に達する。ただし小麦の生産量は国内需要を満たすに至らず、輸入している。同じく寒冷地に向く馬鈴薯：世界第7位、てんさい世界第7位。このほか、有力な農産物は、りんご：世界第7位、キャベツ：世界第8位、なたね：世界第7位、ホップ：世界第5位、亜麻：世界第10位。

特筆すべきは生鮮（非冷凍用）イチゴ：世界第1位である。冷凍用イチゴもさかんに輸出されており、生産されるイチゴの60%は冷凍用で、輸出高では世界1位に達する。

また、各種ハーブの栽培も盛んで、食材として、あるいは薬用として広く生産されている。

[抜粋:Wikipedia(ポーランドの経済)]

2. 化粧品の生産に相応しい気候だからこそ原材料を安定して管理できる

国土の約4割を占める農地の中、ポーランドには国内外の化粧品工場が約400カ所ある(参考値：フランス：約450カ所(研究所含む))。平均気温をみると、7-8月でも20℃を下回る気温だからこそ化粧品原材料となる植物をやさしく保管することができることがポーランドにおいて化粧品工場が多い理由だと考える。

3. うらやましがるほど美人が多い国だからこそアジア女性が「美」に対する夢を持てる

統計データの提供は難しいが、旧ソ連周辺は昔から東洋と西洋が交りあう地としても有名であったためとも言われている。インターネットで検索してみると、その数で判断して頂きたい。